

文学書道特別展

河東碧梧桐 書と俳句

Kawahigashi Hekigotoh

平成23年 10月8日(土) - 11月20日(日)

休館日 毎週月曜日(10月10日は開館し翌11日は休館)

開館時間(観覧時間) 9:30 - 17:00

関連事業 10月23日(日)

- 講演会 演題「碧梧桐の俳句」
10:00 - 10:50 講師 栗田やすし氏 (俳人協会理事・俳誌「伊吹嶺」主宰)
- 展示解説 11:00 - 12:00 講師 島田 三光氏 (日展会友・読売書法会理事)

観覧料 常設展もご覧いただけます

一般500円(400円) / 高校・大学生350円(280円) / 小・中学生250円(200円)

()内は20名以上の団体割引料金。

小・中・高校生は土・日・祝日は無料、65歳以上と障害のある方は半額。

主催 徳島県立文学書道館
第14回徳島県民文化祭・共催事業
後援 徳島県教育委員会 徳島新聞社 四国放送 NHK徳島放送局

写真 河東碧梧桐書集 転写

言の葉ミュージアム

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1
電話 088-625-7485 FAX 088-625-7540

俳人・河東碧梧桐（かわひがし へきごとう 明治6〜昭和12）は、正岡子規に俳句を学んだ後、新傾向俳句を推進し、定型や季語にとられない自由律俳句を創出しました。自身の俳句などを書した書作品には、六朝書を基盤とした、独自の造形豊かな表現世界があります。

今展では、碧梧桐の俳句や漢字の大作など書作品約50点、短冊・色紙・扇子・団扇など小作品約50点、句稿・書簡・碧梧桐が発行した俳誌『碧』『三昧』など文学資料約30点、中村不折らと結成した「龍眠会」関連資料、題字入り著書や現在も使用されている看板などの商業文字、句碑の拓本などを展示します。

書と俳句の両観点から、強烈な個性を放つ碧梧桐の魅力を紹介します。



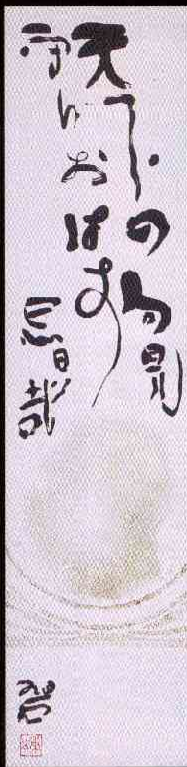
子規庵句会図并賛 一幅 個人蔵



「川筋の芒永々と行きつくし難し」一面 個人蔵



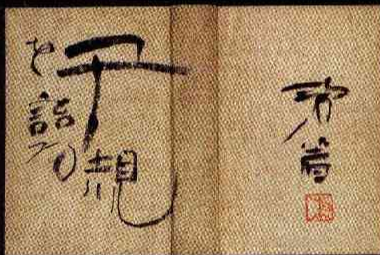
「鶴栖君子樹」一面 個人蔵



「天下の句見守りおはす忍日哉」一幅 個人蔵



「雪散る青ぞらの又た此頃の空」一幅 個人蔵



「子規を語る」直筆の表紙 個人蔵

●交通アクセス〔JR徳島駅から〕

徒歩 約15分

JR徳島駅西側のポッポ街を抜け右折します。

踏切と助任川の西の丸橋を渡り、3つめの信号を右折し約300m。徳島中学校東隣。

バス

〔徳島市営バス〕7番乗り場「富吉団地」（前川・吉野川橋経由）に乗りし、吉野本町2丁目下車、徒歩約5分。

〔徳島バス〕2番乗り場「前川経由」に乗りし、吉野本町2丁目下車、徒歩約5分。

タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進、助任川を渡り4つめの信号を右折し約300m。

●駐車場 当館北側（普通自動車43台・大型バス2台）

【お知らせ】

平成23年12月20日～平成24年2月5日

文学特別展

『魔女の宅急便』の世界展

平成24年2月16日～3月20日

書道特別展

中林梧竹の臨書
—古人の書を化すべし—

10月7日は展示替えのため、3階書道美術常設展示室を閉室します。

10月8日～11月20日は文学書道特別展「河東碧梧桐 書と俳句」の会場となります。

言の葉ミュージアム
徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1
電話 088-625-7485 FAX 088-625-7540
URL <http://www.bungakushodo.jp>

